

# 一般質問通告内容

(令和8年定例会3月会議)

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
1	西田 祐子 (議席番号 12番)	<p>1. 役場新庁舎の建設について</p> <p>現庁舎は 1955 年（昭和 30 年）建設であり、2026 年時点で築 71 年となります。</p> <p>白老町役場庁舎建設基本構想では、「耐用年数を超える建物が大半」、「Is 値 0.3 未満の箇所は倒壊の危険性が高い」とされています。特に北側庁舎 1 階及び南側庁舎 2 階は Is 値 0.3 未満のため震度 6～7 の地震で倒壊・崩壊する危険性が非常に高く、「防災拠点としての機能を果たせない可能性が高い」とされており、災害対策本部どころか通常業務を行うことすら危険な状況と考えます。</p> <p>(1) 役場庁舎の老朽化、耐震性不足、浸水リスク、そして建設課と上下水道課が軽量鉄骨造の別棟に入っている現状をどのように評価しているか伺います。</p> <p>(2) 災害時に行政機能が維持できない可能性について、どのように認識しているか伺います。</p> <p>答弁を求める者 町 長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
1	西田 祐子 (議席番号 12番)	<p>2. 防災避難体制の強化について</p> <p>令和7年7月30日のカムチャツカ半島沖の地震による津波避難指示では、白老小学校に多くの住民と観光客が避難し一晩を過ごす事態となりました。この経験を踏まえ、白老町の防災体制の実態と課題、そして改善の方向性について伺います。</p> <p>(1) 白老小学校は、役場庁舎が津波浸水区域に立地しているため“仮の災害対策本部”として使用されている状況が続いています。しかし、災害対策本部としての必要な機能が整備されているとは言えません。</p> <p>白老小学校を災害対策本部として使用している現状を、通信設備・電源確保・会議スペース・情報集約機能の観点からどのように評価しているか伺います。</p> <p>(2) 元気まち情報館・ホロケナシ駐車公園は、観光案内の拠点・津波避難場所として重要な役割を担っています。Wi-Fiがないことにより避難解除の情報や、どの避難所が開設されているのかといった重要な情報が避難者に届かない現状をどのように認識し、改善を図るのか伺います。</p> <p>(3) 白老霊園は冬期には除雪も行われ、実際に多くの町民が津波警報時に避難していますが、Wi-Fi整備やトイレの洋式化など環境整備を進める考えについて伺います。</p> <p>(4) 社台地区の津波避難場所について、住民説明会における地域の声をどのように把握しているか伺います。</p> <p>答弁を求める者 町長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
1	西田 祐子 (議席番号 12番)	<p>3. 台湾・花蓮県秀林郷との友好協定の教育活用について</p> <p>白老町はこれまで、仙台市、ケネル市、つがる市との姉妹都市交流を通じて、児童・生徒の体験学習や文化交流を積み重ねており、双方の子供たちが互いの文化や自然に触れ合う取組が継続的に行われています。</p> <p>一方、2022年に締結した台湾・花蓮県秀林郷との友好交流推進協定は、アイヌ民族と台湾の先住民族タロコ族との文化的つながりを基盤とした非常に意義のある協定です。しかし、この協定を教育分野に生かした中学生・高校生の交流事業は、いまだ十分に進んでいません。</p> <p>先住民族交流という深い文化的つながりがあるにもかかわらず、教育分野での交流が進んでいないのは、町としての方針が明確になっていないからではないかと考えます。</p> <p>中学生・高校生の国際交流は、視野を広げ、将来の進路選択にも大きな影響を与える重要な機会です。友好協定を生かし、若い世代の交流を進めることは、白老町の未来にとって大きな価値があります。</p> <p>(1) 先住民族交流が先行している一方で、教育分野での交流が進んでいない理由をどのように分析しているのか伺います。</p> <p>(2) 中学生・高校生の交流事業について、町としてどのような検討を行ってきたのか伺います。</p> <p>(3) 友好協定を教育分野で活用するために、町として今後どのような方針を持っているのか具体的に伺います。</p> <p>答弁を求める者 教育長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
2	田上 治彦 (議席番号 2番)	<p>1. 町立病院及び介護医療院の運営について</p> <p>(1) 町長公約に『町民に愛される町立病院改革』を掲げているが、今後の持続可能な病院づくりの考えについて</p> <p>(2) 令和7年度の収支見込みについて</p> <p>(3) 令和8年4月より2名の医師が新規採用され、常勤医師が3名となる予定であるが、4月以降の外来・入院の収支見通しについて</p> <p>(4) 昨年11月に電子カルテが導入されたものの、診察や会計の待ち時間が長くなったとの声があることについて</p> <p>(5) 経営強化・実行計画（アクションプラン）の進捗状況について</p> <p>(6) 介護医療院の入所状況及び今後の経営方針と赤字解消策について</p> <p>答弁を求める者 町 長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
3	前田 博之 (議席番号 9番)	<p>1. 部活動の地域展開について</p> <p>(1) 部活動の地域展開における法律上の定めとその趣旨について</p> <p>(2) 白老・白翔中学校の部活動の過去、現在の状況と各校の部活動入部率並びに文化部、運動部の種目と部員数について</p> <p>(3) 町内の生徒が加入している地域スポーツ・文化芸術等の活動クラブ・団体数とその種目及び所属人数について</p> <p>(4) 体育協会と文化団体連絡協議会の統合と組織体制構築の進捗状況について</p> <p>(5) 部活動の地域移行の改革推進期間の取組内容と実施状況について</p> <p>(6) 部活動地域移行推進計画策定の目的・背景及び具体的内容並びにスケジュールについて</p> <p>(7) 部活動の地域展開の具体的な進め方と財政負担内訳及び年度ベースでの概算想定負担額について</p> <p>答弁を求める者 教育長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
3	前田 博之 (議席番号 9番)	<p>2. 観光施策の展開と振興について</p> <p>(1) 観光商業ゾーン、バス駐車場特別会計の累積赤字額と令和7年度決算見込額及び赤字額と解消計画について</p> <p>(2) 令和8年度を見据えた観光施策の展開について</p> <p>① 白老駅北観光商業ゾーン「ポロトミンタラ」における具体的な収益性向上策について</p> <p>② 大型バス駐車場の事業継続について</p> <p>③ 新たな観光コンテンツの開発について</p> <p>④ 白老おもてなしガイドセンターの活動内容とその実績について</p> <p>(3) 観光地域づくり法人(DMO)の新基準について</p> <p>① 2025年3月の制度改正とその背景について</p> <p>② 施行スケジュールと移行期間について</p> <p>③ 白老観光協会が今後取り組むべき課題について</p> <p>答弁を求める者 町 長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
4	長谷川かおり (議席番号 4番)	<p>1. 全世代の感染症予防を進めるためのワクチン接種について</p> <p>(1) 带状疱疹ワクチン接種の現状と課題について  令和7年度から、国の制度により65歳以上の方などを対象に带状疱疹ワクチンの予防接種が定期接種の対象になりました。带状疱疹は高齢者だけでなく働き盛りの世代にも増えており、後遺症の带状疱疹後神経痛は日常生活に大きな支障を来すといわれています。</p> <p>① 制度開始後のワクチン接種の実績と課題について伺います。</p> <p>② 50代以降を対象とする町独自の助成制度創設について見解を伺います。</p> <p>(2) 子供のインフルエンザワクチン予防接種の助成制度の創設について  季節性インフルエンザは、子供、特に乳幼児が感染すると重い後遺症や命に関わるインフルエンザ脳症を発症する恐れがあるといわれています。</p> <p>また、学校生活を通じて感染が広がり、家庭や地域社会へ拡大することから、公衆衛生の観点からも就学期の予防接種の必要性が指摘されています。子供たちの健康を守ることはもちろん、学校・家庭・地域を通じて町民全体の健康を守るためにも、子供の予防接種への支援は重要と考えます。</p> <p>① 今年度のインフルエンザの感染状況と小中学校の学級閉鎖の現状及び行事への影響について伺います。</p> <p>② 児童・生徒の罹患数と割合、学級閉鎖の状況から考えられる予防接種の有効性について見解を伺います。</p> <p>③ 子育て支援と公衆衛生の観点から独自の助成制度を創設すべきと考えますが見解を伺います。</p> <p>(3) HPVワクチンの現状と今後の支援について  子宮頸がんにつながるHPVへの感染は、HPVワクチン接種で予防できます。</p> <p>HPVは女性だけでなく男性にも影響し、中咽頭がんや陰茎がん、肛門がんの原因にもなることが知られています。</p> <p>そのため、近年では男性への接種費用を助成する市区町村もあり、男女ともに若い世代を守る取組が広がっています。</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
4	長谷川かおり (議席番号 4番)	<p>① ワクチンの積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した キャッチアップ接種対象者の公費による接種実績と課題につ いて伺います。</p> <p>② 男女問わず将来の健康を守るため、男性への支援の在り方 について見解を伺います。</p> <p>答弁を求める者 町 長</p> <hr/> <p>2. 命を守る見守り体制と救急情報連携の強化について</p> <p>独居高齢者の増加や地域のつながりの変化により、自宅で 倒れ発見が遅れるケースや、救急搬送時に必要な医療情報が 共有されにくいという課題が指摘されています。</p> <p>緊急通報システムとマイナ救急は、こうした「発見の遅 れ」や「情報不足」を防ぎ、町民の命を守るために欠かせな い仕組みです。</p> <p>また、医療機関との連携をさらに強めていくことが重要で すが、現状と課題について伺います。</p> <p>(1) 緊急通報システムの設置数、申込数、課題について</p> <p>(2) 孤立死の実態について</p> <p>(3) 救急搬送時の搬送先選定の基準の現状と課題について</p> <p>(4) 救急現場でのマイナ救急利用実績と効果、医療機関との 連携状況及び運用上の課題について</p> <p>答弁を求める者 町 長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
5	森 哲也 (議席番号 11番)	<p>1. 防災対策の取組について</p> <p>(1) 総合防災訓練について</p> <p>① 参加者数の推移を伺います。</p> <p>② 令和7年度の訓練の評価を伺います。</p> <p>(2) 避難所について</p> <p>① 避難所運営における課題と今後の改善策について伺います。</p> <p>② 指定避難所におけるAEDの必要性の考えを伺います。</p> <p>③ 北海道栄高校移転後の指定避難所としての取扱いを伺います。</p> <p>(3) 避難行動要支援者について</p> <p>① 福祉避難所開設までのプロセスを伺います。</p> <p>② 避難行動要支援者の個別計画の策定状況を伺います。</p> <p>答弁を求める者 町 長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
6	広地 紀彰 (議席番号 13番)	<p>1. 産業振興とまちの活性化に向けた施策の深化について</p> <p>(1) ふるさと納税制度の理念を踏まえた町のふるさと納税事業の制度設計の基本的な考え方、事業実施に向けた官民協働の実態、展開の成果と今後のさらなる展開への考えを伺います。</p> <p>(2) ポロトミンタヲを中心とした白老の魅力発信に向けて、開設以降の売上や集客、特産品の開発状況や町内経済への貢献、駅北観光商業ゾーンの振興やポロトミンタヲの運営に対する課題と打開策を伺います。</p> <p>(3) 事業者支援として取り組まれている経営安定化施策に対する町内企業・商工団体からの主な要望と諸施策の成果と課題、企業誘致の実態と今後の方策を伺います。</p> <p>(4) 町内事業者の人手不足の実態と支援策、外国人技能実習生の受入状況、特に人員不足が顕著な介護現場の実態と、町の支援策の成果と今後の展開を伺います。</p> <p>(5) 空き店舗等活用・創業支援事業のこれまでの採択状況や成果、課題と地域おこし協力隊の活躍も踏まえた創業支援の在り方を伺います。</p> <p>(6) 地域振興やまちづくりにおける道の駅の評価や効果に対する認識、本町で道の駅を展開した場合に期待される成果と課題、実現に対する町としての姿勢や事業展開の考えを伺います。</p> <p>答弁を求める者 町長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
6	<p>広地 紀彰 (議席番号 13番)</p>	<p>2. げんきまちの元気を生み出す事業実現に向けて</p> <p>(1) 白老町における健康寿命や、国民健康保険・後期高齢者医療における療養諸費にみられる高齢者の健康状況や傾向を伺います。</p> <p>(2) 健康しらおい21計画を基に取り組まれている健康キャラバンや介護予防サロン、キラ☆おいポイント事業など、町民に向けた様々な事業の成果と今後の展開を伺います。</p> <p>(3) 重症化予防や疾患対策として各種検診や保健指導をはじめ多くの事業が行われているが、その成果と課題、保険者努力支援制度を踏まえた今後の取組強化の考えを伺います。</p> <p>答弁を求める者 町長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
7	水口 光盛 (議席番号 1番)	<p>1. 上下水道の強靱化と持続可能な経営について</p> <p>(1) 上下水道の管路の多くは高度経済成長期に集中的に整備され、急速に管路の老朽化が進んでいると考えます。本町における老朽化率の推移と基幹管路の耐震化率の現状及び今後の更新計画について伺います。</p> <p>(2) 水道会計は将来にわたり安全な水を供給するため、本町では苦渋の決断として水道料金の改定や一般会計からの繰出金により、経営の維持が図られています。町民に料金の値上げの負担を強いている以上、その原資が適切に安全に直結しなければなりません。料金改定による増収分や一般会計からの繰出金が、管路の耐震化や老朽施設の更新といった建設改良費にどの程度充当されているのか伺います。</p> <p>(3) 人口減少に伴う減収や物価高騰、限られた財源と職員数という厳しい制約の中で、事業費の平準化を図りつつ、強靱なインフラをいかに構築していくかが問われています。将来世代に過度な負担を先送りしないためにも、DXの活用やアセットマネジメント（資産管理）の視点を含めた上下水道事業の企業会計としての経営方針を伺います。</p> <p>答弁を求める者 町長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
7	水口 光盛 (議席番号 1番)	<p>2. 財政基盤の確立と行財政改革の推進について</p> <p>(1) 人口減少に伴う町税の減収は、本町の存立を左右する喫緊の課題です。個人住民税及び固定資産税の今後の予測と、ふるさと納税の役割をどう捉えているのか伺います。 また、ふるさと納税を一過性の寄附にとどめず、中長期的に安定した自主財源として確保していくための具体的な施策について併せて伺います。</p> <p>(2) 各基金の管理方針及び活用計画について伺います。</p> <p>(3) 財政の柔軟性を維持するためには、過疎債をはじめとする有利な地方債の戦略的活用と、厳格な償還管理が不可欠です。そこで、現在の起債残高の推移と今後の償還計画について伺います。 あわせて、大型事業が重なる期間において、増大する公債費をいかにコントロールし、財政の硬直化を防ぐのか具体的な方針を伺います。</p> <p>(4) 公共施設の老朽化対策や新庁舎建設計画など、多額の財源を要する事業が見込まれており、自主財源の安定確保と財政運営の効率化、公債費の適正管理や基金の確保が極めて重要になることから、確実に事業を実施するためには、白老町行財政改革推進計画をさらに加速させ、財政の余力を生み出すべきと考えますが見解を伺います。</p> <p>答弁を求める者 町 長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
7	水口 光盛  (議席番号 1番)	<p>3. 災害時の踏切開放と避難路の安全確保について</p> <p>(1) 本町の防災計画において、津波避難等の緊急時に町民が横断せざるを得ない主要避難ルート上の踏切はいくつ存在し、何名程度の避難者が通過すると想定しているのか見解を伺います。</p> <p>(2) 高齢者や要支援者が集中する地区において、踏切が閉鎖された場合に生じる渋滞が避難完了時間に及ぼす影響をどのようにシミュレーションしているのか伺います。</p> <p>(3) 津波避難等の緊急時、J R北海道は単なる一民間企業ではなく、災害対策基本法に基づく指定公共機関として、国や市町村と協力して国民の命を守る義務を負っていると考えます。列車の安全運行はもとより、踏切によって避難を阻まれる町民の命に対しても責任を持つべきと考えますが、災害時における踏切の自動閉鎖の仕組みや、停電や故障時の開放手段について、J R北海道とどのような協議を行っているのか伺います。</p> <p>(4) J R北海道が主体となり、町職員や自主防災組織に対して遮断機の緊急手動開放手順を事前に教示する、あるいは町職員が現場判断で操作することを容認するなど、官民の役割分担を明確化した災害時における踏切開放協定を締結すべきと考えますが見解を伺います。</p> <p>(5) 協定の締結を待たずとも、まずは避難訓練において踏切開放のデモンストレーションを実施するなど、実効性のある対策を直ちに講じるべきと考えますが見解を伺います。</p> <p>答弁を求める者 町 長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
8	佐藤 雄大 (議席番号 8番)	<p>1. 誰もが動けるまちを目指す移動が創る白老の活力と未来について</p> <p>(1) 若者の「移動」を支える支援と環境整備について 町外へ通学する若者の経済的負担を軽減する大学生等通学費助成事業の対象者への確実な周知戦略と、若年層の定住促進に及ぼす効果について伺います。</p> <p>(2) 交流人口を町内全域へ波及させる観光モビリティ戦略について</p> <p>① 民族共生象徴空間ウポポイの来訪者を町内全域へ誘導するための二次交通の強化策を伺います。</p> <p>② 令和8年度に本格化するプロサッカーチーム「FC東京」の夏季キャンプ受入を契機に、合宿補助事業等と連動した移動手段の確保及び経済波及効果を最大化するための戦略を伺います。</p> <p>③ ナイトタイムエコノミーの推進と夜間の移動支援について、ポロトミンタラ周辺での夜間イベントや冬季イルミネーションなど、滞在型観光を支えるための夜間の移動手段の確保及び広域的な周遊性を高める施策について伺います。</p> <p>(3) 地域公共交通のスマート化と持続可能な運行体制の構築について</p> <p>① 白老町地域公共交通計画に基づき、これまでに実施してきた生活交通確保維持推進事業の進捗と、町民の利便性向上に対する成果を伺います。</p> <p>② 既存の運行データやデジタル技術を活用し、町民の通院や買い物の実情に即した柔軟なダイヤ改正及び各路線の最適化をどのように実施していくのか伺います。</p> <p>③ 全国的に深刻化する運転手不足に対応するため、NPOや地域住民が担い手となる自家用有償旅客運送（ライドシェア）など、新たなモビリティの検証状況と将来的な展望について伺います。</p> <p>答弁を求める者 町 長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
9	森山 秀晃 (議席番号 7番)	<p>1. 生涯学習・教育環境の充実と次世代への投資について</p> <p>(1) 高齢者大学移転の現状と課題について伺います。</p> <p>(2) 白老鉄南地区における小学生の通学支援の現状と課題について伺います。</p> <p>(3) 中学生による「まちづくり提案事業」の実施状況と今後の展開について伺います。</p> <p>(4) ふるさと教育とキャリア教育の連動による愛町心の醸成について伺います。</p> <p>(5) 部活動の地域移行に伴う環境整備と活動機会の確保について伺います。</p> <p>答弁を求める者 教育長</p>
		<p>2. 持続可能な町政運営と活力ある地域づくりについて</p> <p>(1) 企業誘致の現状と財政力向上に向けた未利用町有地の利活用について伺います。</p> <p>(2) 若年層の転入・定住を促進するための「職」と「住」の連携施策について伺います。</p> <p>(3) 町職員の労働環境の現状分析と組織の活力維持に向けた風土改革について伺います。</p> <p>答弁を求める者 町長</p>